

# 1.新型コロナウイルスに関する影響について

## 1. 感染拡大防止への対応

コマツグループは、お客さま、お取引先さま、地域社会の皆さま、社員とその家族の安全と健康を第一として、各国政府の方針に基づき、新型コロナウイルス感染拡大防止に努めています。

### 現在の感染拡大防止策

社員の体調管理/ 出社基準	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発熱、体調不良時は出社不可</li> <li>・同居家族が感染/本人・同居家族が濃厚接触者は出社不可</li> </ul>	
在宅勤務	在宅勤務の適用範囲拡大	
通勤手段	【工場】原則、公共交通機関の利用不可	
出張	海外	全面禁止（日本⇔海外）
	国内	原則見合わせる（お客様からの要望による出張等は除く）
イベント・研修	主催するイベント・研修・セミナーは原則として中止・延期。	
施設利用	食堂	食堂の利用時間ならびに座席変更
	ロッカー	【工場】制服通勤可とし、ロッカーの利用減
衛生対策等	清掃の強化、アルコール消毒液の設置、【工場】マスク着用	

政府方針 都道府県をまたぐ移動自粛・水際対策等

社員の体調管理

3密の回避

衛生対策（マスク・手洗い・消毒等）

フェーズ  
や地域  
の状況  
に応じた  
対応

社員の  
安全・安心

持続可能  
な対策

- ・工場稼働に従事しない社員は、原則在宅勤務。
- ・工場稼働に従事する社員は、感染防止対策（検温、公共交通機関不使用、ロッカーなどの密集場所回避）を行った上で事業所勤務。（間接部門については、出来る限りの在宅勤務を実施）

## 2. 生産への影響

当社は従来、需要や為替の変動の影響を吸収するため、車体や部品のグローバルクロスソーシング、グローバル調達に取り組んでいます。代替調達や在庫の再配置により生産への影響は最小限になるよう努めており、サプライチェーンに関わる問題は、現時点で発生していません。

### <オペレーション停止等の影響がでている主な生産拠点の状況>

地域	拠点名	状況
欧州	・英国コマツ(株)	生産停止(3月30日～5月31日)
アジア	・コマツインディア(有)	生産停止(3月24日～5月17日)、5月18日より再開予定

上記以外の生産拠点につきましては、各国政府の方針に従うとともに、感染防止対策を実施の上、稼働しています。

### <既に生産を再開した主な生産拠点の状況>

地域	拠点名	状況
中南米	・コマツブラジル(有)	生産停止(4月6日～4月21日)、4月22日より再開済み
欧州・CIS	・コマツイタリア製造(株)	生産停止(3月26日～5月3日)、5月4日より再開済み
	・コマツドイツ(有)	生産停止(4月4日～4月13日)、4月14日より再開済み
	・コマツフォレストAB	生産停止(4月13日～5月1日)、5月2日より再開済み
	・コマツロシア製造(有)	生産停止(3月28日～4月10日)、4月13日より再開済み
中国	・中国内全工場	2月10日より順次再開、2月17日に全工場再開済み

### 【協力企業への支援体制】

- ・経営環境が厳しい協力企業に対し資金繰り支援を実施。(在庫買取、雇用調整助成金取得への支援等)

### 3. 販売・業績への影響

#### (1) お客様の現場・機械稼働の状況

各国政府による規制が発令されている地域においては、お客さまの休業などの影響がでておりますが、建設・鉱山、農林業、物流などは、生活インフラを支える仕事（Essential business）として、お客さまの現場は稼働しております。引き続き、機械稼働システム「KOMTRAX」から得られる車両の稼働データなどを注意深く見ていきます。

#### (2) 販売・サポート活動

販売代理店については、在宅勤務を活用しながら、供給ルートやシフト体制の見直しなどの対策を行うことにより、お客さまへの製品・部品・サービスの継続的な供給に努めています。

#### (3) ファイナンスの状況

一部のお客様・代理店から、支払猶予の依頼を受けており、状況を把握の上、対応しております。グループ会社の資金繰りについては、手元資金・調達枠を確保し、現在のところは問題ありません。

#### (4) 売上げへの影響

第4四半期においては、建設機械・車両部門では、中国、北米、欧州、インドを含むアジアにおいて、また、産業機械他部門でも、自動車業界向けの鍛圧機械及び工作機械の販売に大きな影響があり、全体で約400億円程度、売上げが減少したと見ています。

#### (5) 2021年3月期の連結業績予想

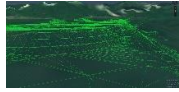


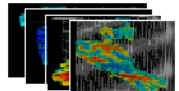
世界各国に拡大した新型コロナウイルス感染の終息が見通せない中、2021年3月期の通期連結業績予想につきましては、適正かつ合理的な算定が困難であることから、現時点では未定とし、今後算定が可能となった時点で速やかに開示いたします。

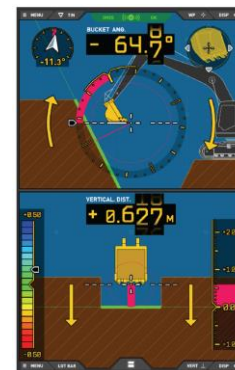
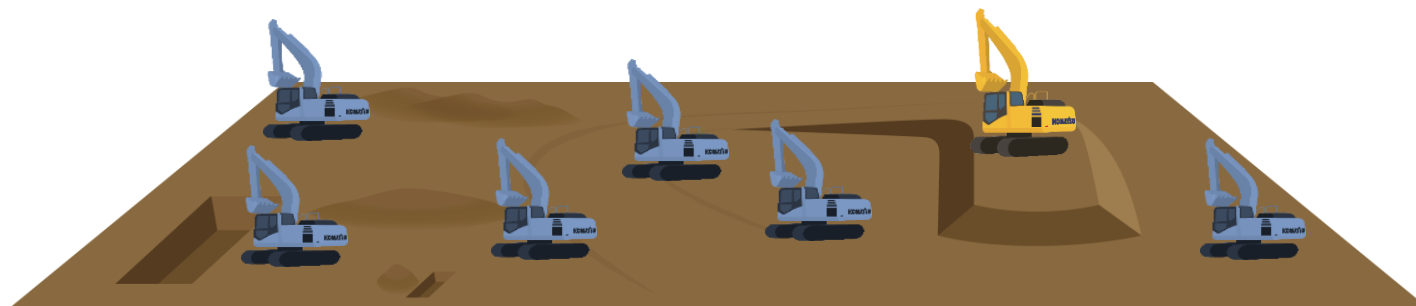
## 2.中期経営計画の進捗状況

3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 碎石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバープロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>

3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 碎石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバープロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>

### 現場稼働する全ての油圧ショベルを、最新のICT建機並みの機能にする、 「スマートコンストラクション・レトロフィットキット」を4月より発売

	Non ICT建機	ICT建機	レトロフィットキット	レトロフィットキット搭載でできること
 3D設計データによる3D施工	3D施工不可	3D施工可能	3D施工可能	3D設計データによる高精度3D施工が可能になる
 3D制御	不可	可能 半自動	不可 ガイダンスのみ	
 丁張・補助作業員	不可	不要	不要	丁張作業が不要、補助作業員不要により、安全、生産性向上
 3D施工実績	取得不可	高精度 取得可能	高精度 取得可能	施工実績が、デジタルでリアルタイムに取得可







2020年3月10日 CONEXPO@ラスベガスでのプレゼンテーションの様相

コマツは、2020年4月よりスマートコンストラクションを進化させ、建設現場のデジタルトランスフォーメーションの実現を加速。



4つのIoTデバイスと  
8つのアプリケーションを  
順次導入開始。



米国および欧州4カ国(英国、ドイツ、フランス、デンマーク)でスマートコンストラクションの市場導入を開始します。

3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 砕石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバプロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>

# 先進のやさしさ、 コマツ “ゼロエミッション” ミニショベル 誕生。

乗る人にも、周りの人にも、環境にも。  
すべてにやさしい、バッテリー駆動式ミニショベル。

## ECOLOGY & SAFETY

動力源は環境にやさしいバッテリー・電動モータ

- ★ 排気ガス・排熱がなく、作業環境改善
- ★ 車体騒音・周囲騒音が低減
- ★ 現場での CO<sub>2</sub> 排出量 “ゼロ”

## MAINTENANCE

エンジン関連のメンテナンスが不要

- ★ 日常点検、定期メンテナンス項目低減  
仕業点検: 9→5項目、定期点検: 16→11項目

## CHARGING & KOMTRAX

最適な充電制御と早期バッテリー劣化を防止

- ★ 普通充電器を搭載。急速充電にも対応
- ★ KOMTRAXで日々のバッテリー状態を監視

**KOMTRAX**

定格出力(net): 17.4kw

標準バケット容量: 0.09m<sup>3</sup>

PC30E-5



3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 碎石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバープロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>

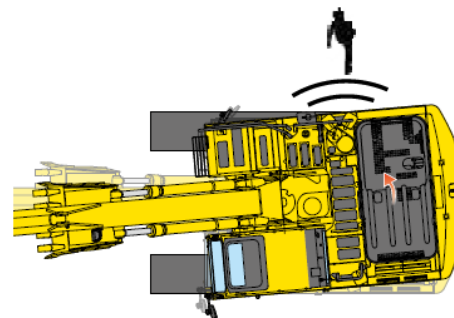
3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 碎石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバープロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>

<モニタ画面>



停止状態から走行するとき、または低速走行中でも、停止制御エリアで人を検知すると**低速走行を停止**させる。

停止状態から旋回する時、停止制御エリアで人を検知すると**旋回の発進を停止**させる。

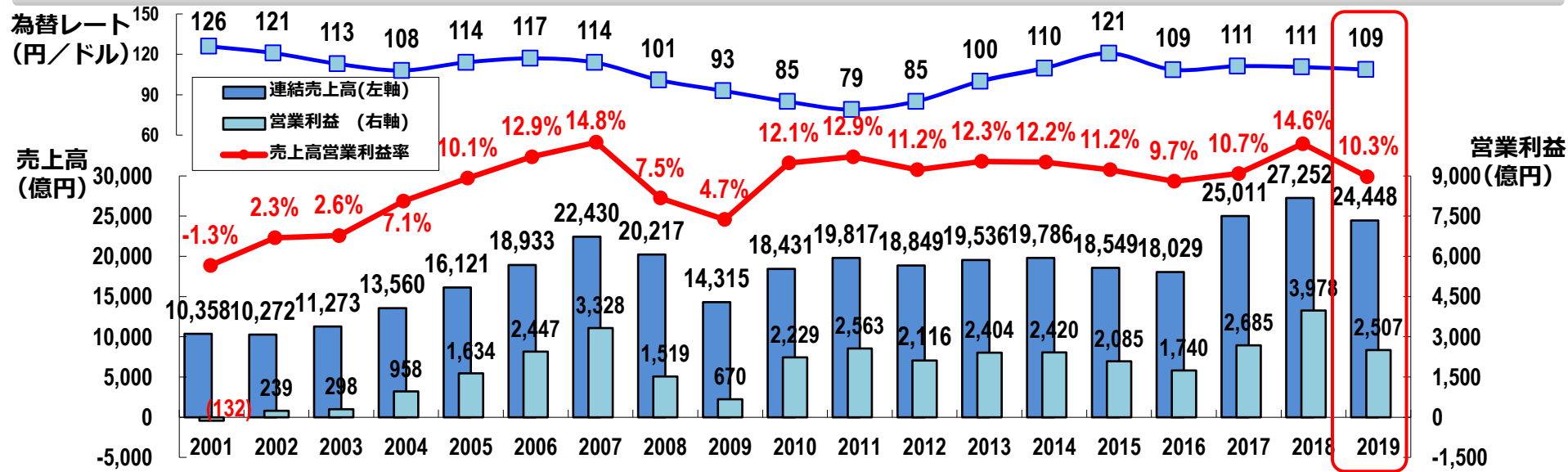


3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 碎石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバプロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>

3つの経営戦略	活動の例	
1.イノベーションによる価値創造	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの導入拡大(国内累計10,000を超える現場)</li> <li>・ デジタルトランスフォーメーション・スマートコンストラクション提供開始発表(2020年4月から提供)</li> <li>・ 3D施工を可能にする油圧ショベル用後付けキットの導入開始発表(2020年4月から導入)</li> <li>・ 無人ダンプトラック運行システム (AHS) の総稼働台数221台の達成</li> <li>・ 鉱山顧客向けのオペレータートレーニング会社(Immersive Corporation Pty Ltd)の買収</li> <li>・ 「bauma2019」にてバッテリー駆動式ミニショベルの展示、日本向けにレンタル機として市場導入</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ スマートコンストラクションの海外展開</li> <li>・ 鉱山用新プラットフォーム開発</li> <li>・ 自動化・自律化・電動化・遠隔操作化の技術開発</li> </ul>
2.事業改革による成長戦略	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ コマツマイニング株式会社 (以下、「コマツマイニング」) の拠点との統廃合</li> <li>・ 碎石・セメント向けモデル導入</li> <li>・ 戦略地域向け油圧ショベルのモデルチェンジ</li> <li>・ 「KomVision人検知衝突軽減システム」を標準装備した油圧ショベルを国内市場導入</li> <li>・ 米国における林業機械メーカー(ティンバープロ社)の買収</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 坑内掘りハードロック事業の市場ポジション向上</li> <li>・ 次世代KOMTRAXの導入</li> <li>・ ライフサイクルサポート実現に向けたバリューチェーン改革の継続推進</li> <li>・ 産業機械事業改革 (建設機械事業とのシナジー拡大、コア技術による成長)</li> </ul>
3.成長のための構造改革	2019年度実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 着実なコスト改善活動</li> <li>・ 「つながる工場」を実現する「KOM-MICS」が、ものづくり日本大賞 内閣総理大臣賞受賞</li> <li>・ コマツマイニングの新ミルウォーキー工場およびコマツフォレスト株式会社の新ウメオ工場の着工</li> </ul>
	2020年度以降の課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ICT・IoTによる業務改革推進</li> <li>・ 継続的なコスト改善活動の推進</li> <li>・ グローバルな人材強化、ダイバーシティの推進</li> </ul>



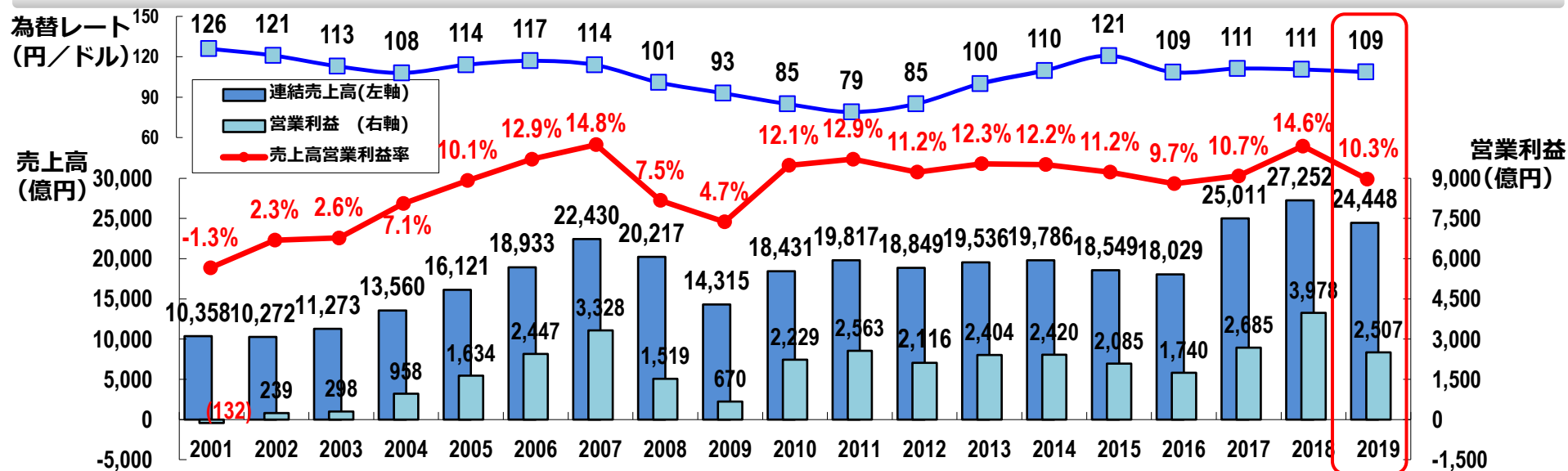
・アジアを始めとする戦略市場の需要減、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、減収減益となった。



<中期経営計画の経営目標進捗状況>

	経営目標	FY2019 (中計初年度)	
		指標	実績
成長性	・ 業界水準を超える成長率	売上高成長率	▲10.3%
収益性	・ 業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	10.3%
効率性	・ ROE 10%以上	ROE	8.6%
健全性	・ 業界トップレベルの財務体質	ネットD/Eレシオ	0.43
株主還元	・ 成長への投資を主体としながら、株主還元（自社株買いを含む）とのバランスをとる。 ・ 連結配当性向を40%以上とする。	連結配当性向	57.7%
ESG	・ 環境負荷低減 CO2排出削減：2030年50%減（2010年比） 再生可能エネルギー使用率：2030年50% ・ 外部評価：DJSI選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）等	環境負荷低減 外部評価	CO2：2021年に40%減 再エネ：2021年に15% DJSI選定 CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-
リテールファイナンス事業	・ ROA 1.5% - 2.0% ・ ネットD/Eレシオ 5倍以下	ROA ネットD/Eレシオ	1.5% 3.80

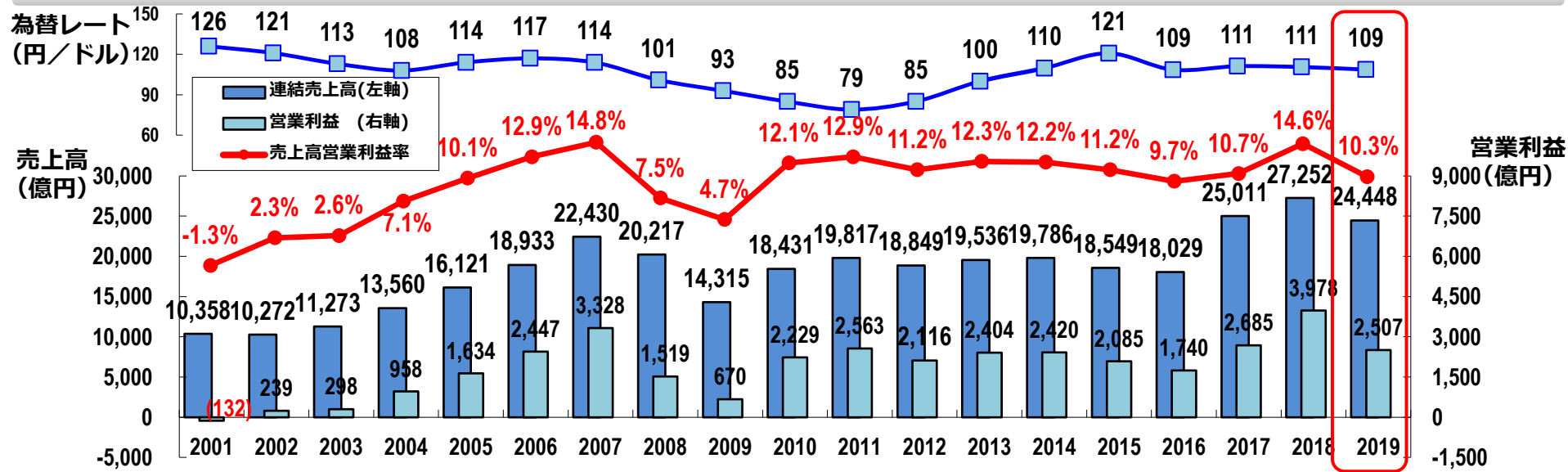
・アジアを始めとする戦略市場の需要減、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、減収減益となった。



<中期経営計画の経営目標進捗状況>

	経営目標	FY2019 (中計初年度)	
		指標	実績
成長性	・ 業界水準を超える成長率	売上高成長率	▲10.3%
収益性	・ 業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	10.3%
効率性	・ ROE 10%以上	ROE	8.6%
健全性	・ 業界トップレベルの財務体質	ネットD/Eレシオ	0.43
株主還元	・ 成長への投資を主体としながら、株主還元（自社株買いを含む）とのバランスをとる。 ・ 連結配当性向を40%以上とする。	連結配当性向	57.7%
ESG	・ 環境負荷低減 CO2排出削減：2030年50%減（2010年比） 再生可能エネルギー使用率：2030年50% ・ 外部評価：DJSI選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）等	環境負荷低減 外部評価	CO2：2021年に40%減 再エネ：2021年に15% DJSI選定 CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-
リテールファイナンス事業	・ ROA 1.5% - 2.0% ・ ネットD/Eレシオ 5倍以下	ROA ネットD/Eレシオ	1.5% 3.80

・アジアを始めとする戦略市場の需要減、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、減収減益となった。



<中期経営計画の経営目標進捗状況>

	経営目標	FY2019 (中計初年度)	
		指標	実績
成長性	・ 業界水準を超える成長率	売上高成長率	▲10.3%
収益性	・ 業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	10.3%
効率性	・ ROE 10%以上	ROE	8.6%
健全性	・ 業界トップレベルの財務体質	ネットD/Eレシオ	0.43
株主還元	・ 成長への投資を主体としながら、株主還元（自社株買いを含む）とのバランスをとる。 ・ 連結配当性向を40%以上とする。	連結配当性向	57.7%
ESG	・ 環境負荷低減 CO2排出削減：2030年50%減（2010年比） 再生可能エネルギー使用率：2030年50% ・ 外部評価：DJSI選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）等	環境負荷低減 外部評価	CO2：2021年に40%減 再エネ：2021年に15% DJSI選定 CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-
リテールファイナンス事業	・ ROA 1.5% - 2.0% ・ ネットD/Eレシオ 5倍以下	ROA ネットD/Eレシオ	1.5% 3.80

MEMBER OF  
**Dow Jones  
Sustainability Indices**



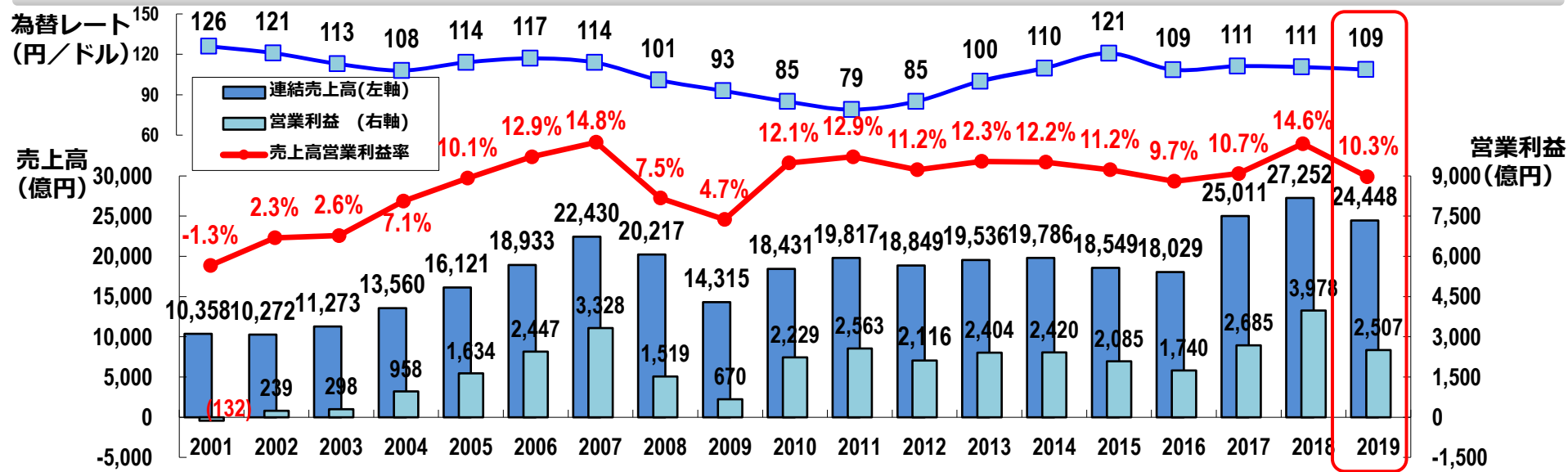
In collaboration with a RobecoSAM brand

世界の代表的なSRI（社会的責任投資）指標である「**ダウ・ジョーンズ・サステナビリティ・インディシズ（DJSI）**」に選定されました。



環境情報開示システムを提供する国際的な非営利団体であるCDPにより「**気候変動**」Aリスト企業と認定されました。

・アジアを始めとする戦略市場の需要減、新型コロナウイルス感染拡大の影響等で、減収減益となった。



<中期経営計画の経営目標進捗状況>

	経営目標	FY2019 (中計初年度)	
		指標	実績
成長性	・ 業界水準を超える成長率	売上高成長率	▲10.3%
収益性	・ 業界トップレベルの営業利益率	営業利益率	10.3%
効率性	・ ROE 10%以上	ROE	8.6%
健全性	・ 業界トップレベルの財務体質	ネットD/Eレシオ	0.43
株主還元	・ 成長への投資を主体としながら、株主還元（自社株買いを含む）とのバランスをとる。 ・ 連結配当性向を40%以上とする。	連結配当性向	57.7%
ESG	・ 環境負荷低減 CO2排出削減：2030年50%減（2010年比） 再生可能エネルギー使用率：2030年50% ・ 外部評価：DJSI選定（ワールド、アジアパシフィック） CDP Aリスト選定（気候変動、水リスク）等	環境負荷低減 外部評価	CO2：2021年に40%減 再エネ：2021年に15% DJSI選定 CDP気候変動 評価 A CDP水リスク 評価 A-
リテールファイナンス事業	・ ROA 1.5% - 2.0% ・ ネットD/Eレシオ 5倍以下	ROA ネットD/Eレシオ	1.5% 3.80